

令和6年二十歳の集い

とき 1月6日(土)

受付 10時から10時50分まで
式典 11時から

ところ 中央公民館

対象者

平成15年4月2日生まれから
平成16年4月1日生まれの方

※家族、関係者も出席できます。



【問い合わせ】 中央公民館 ☎45・8446

二十歳の集いを迎えて

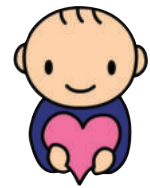
実行委員会代表 浅野尊さん



私たちが晴れて二十歳を迎えることができましたのは、家族をはじめ、多くの人の皆様のおかげです。携わってくださった皆様に心より感謝申し上げます。2023年は軽井沢町町制施行100周年という節目の年です。
このような節目の年に「二十歳の集い」を開催できること

をうれしく思います。これから私たちは二十歳という節目を迎え社会に踏み出していきます。
激動の時代に生まれ、将来に不安を抱える日々ですが、私たちひとりひとりが自身身の人生を生きていきたいと思えます。
ここまで成長を見守ってくださった家族をはじめ、多くの皆様のご支援に改めて感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

こころらぼ



スクールサポーター
(臨床心理士・公認心理師)
小林 真理

早期発見・早期対応

先日、友人と話している際に「会社にこういう人がいるんだけど…」と相談を受けたことがあります。

内容すると「相手がよくあれと思って言ったことに対して、突然怒り出す」「意見を出し合う場面で、自分の考えと違う意見があると、言った相手に対して攻撃を始める」「できていないことに対してアドバイスをして、『そうですよね』と言うだけで何度も同じことを繰り返す」「想像するのが難しいのかイメージするのが難しいのか、質問に対して見当違いの答えが返ってくる」「頭はいいのに、暗黙のルールのなものや、場の雰囲気を読めない」「決まりきったルーティーンのあることではできるけど、いつもと違うことをお願いするといつまでたってもできない」とにかくプライドが高くて、わからなくても人に聞かない」「周りは困っ

ているけど、本人は一切困っていない」「周囲と折り合いをつけることが難しく、どんどん孤立していく」といったエピソードがいくつも出てきました。相談してきた友人は、この人に対して、どう接していったらいいのか、本人の自覚はあるものなのか、と最後に付け加えていました。会社という組織の中で、いかにみんなが気持ちよく仕事をしていくか、ということを考えているようでした。

私は普段、小学生や中学生と関わっていますが、今回あげたエピソードと同じ様な特性をもっている子ども達と関わることもよくあります。子どもだけではなく、保護者や関係する先生方との面接を重ね、相談にくる子ども達の周りで起きる日常的なエピソードと一緒に考えています。その中で、「自分と相手の気持ち」「自分と相手の取った行動」「自分と相手の考え」が、それぞれどうだったのか、を一緒に振り返り、「じゃあ、どうすればいいか」といったことを話し合っています。

こういったプロセスを繰り返していくことで、成長するに従って、子どもたちも周りと折り合いをつけることができるようになっていきます。そして自分の特性を自覚でき

るようになっていきます。さらに、つまづいていることや困っていることに対して「どうしたらいいか」と周りに相談することができるようになっていきます。

こうした子どもたちの成長の姿をたくさん見ている分、今回の友人からの相談は、自覚のないまま大人になってしまい、結果として「困った人」になってしまったケースだと言えるのではないのでしょうか。「困った人」は「困っている人」でもある、と以前に記しましたが、そうではない場合もあります。本人が困らない限り、周りが何を言っても聞く耳はもてません。「早期発見・早期対応」とはいえ最初は「うちの子がそんなはずはない」と思うのも当然です。でも、長い成長のプロセスにおいて、先々を考えていくことも大切です。気づいた時、小さい頃からの積み重ねができるようにしていけるといいですね。

過去の「こころらぼ」は、町ホームページからご覧になれます。

